



### ★観察ルートと観察ポイント(数字は図4-4-8の中の数字の場所に対応)★

- ① 市教育委員会庁舎：集合場所(室内で自然、地形、お城の歴史について座学)
- ② 上田泥流の露頭(岩屑なだれに相当する地層の観察と上田高校地学班の研究の紹介)
- ③ 上田泥流の露頭(上田泥流とその下の扇状地礫層の観察、城の護岸の観察)
- ④ 東虎口櫓門(お城の石垣の観察と築城の歴史を知る)
- ⑤ 西櫓(上田盆地の眺望、地形発達の歴史を知る、天然の要塞としての地形的な特徴を知る)

### 【参加者の主な感想】

- ・地形が歴史を変えたかもしれない現場を見て感激(市内在住、60代)
- ・地学的な話も歴史の話にも納得。面白い試みだと思った。野外観察にもっと時間が欲しかった(市内在住、70代)
- ・地元の人でも知らないことばかりで勉強になった(市内在住、50代)
- ・今まで考えもしなかった地質学の視点から、郷土の歴史を眺めることができ、大変有意義な時間でした(市内在住、50代)
- ・普段と違う視点から上田城を見ることができとても面白かった(他市、50代女性)
- ・人類の歴史なんて大地の歴史に比べればあまりにも短くはかないものなんだとつくづく考えさせられた(市内在住、50代男性)
- ・良く理解できた(他市、被災当時に長野市に在住50代女性)

### 【企画者の反省】

#### <実施にあたって配慮・工夫した点>

- ・地元の歴史に詳しい方と、地質に詳しい方の両方に案内協力を依頼し、郷土史と自然史とのコラボレーションとして企画した
- ・戦国時代の歴史のことと自然史のことと、視点の異なる情報が多い。そのため、ツアーの最初に室内で準備となる学習をしていただいてから現地の観察を行った
- ・紅葉シーズン最後の時期であったため、駐車場確保やツアーの際に、一般観光客の迷惑にならないように配慮した

#### <課題>

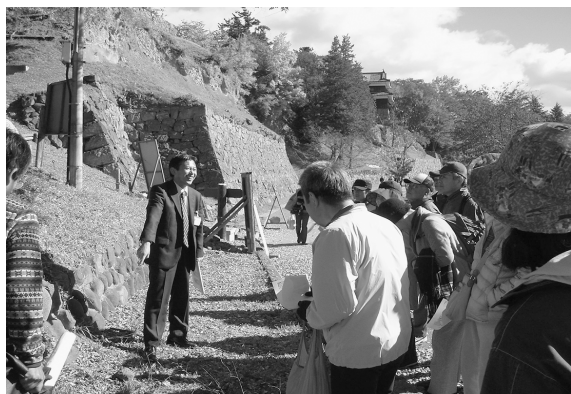
- ・半日のツアーということで企画したが、歴史の話と自然史と話の両方があり、提供する情報が多くなった。もっとゆっくり観察する時間が欲しかったという声があった。



ツアーの前に座学で準備



上田泥流の正体は何か？



上田城の歴史を学ぶ



石垣にも歴史がある



西櫓から城のまわりの地形を観察



上田市のシンボル 上田城跡(撮影9月)

図4-4-9 第7回「自然史王国信州を歩く～戦国編～」当日の様子